# 愛知東邦大学 シラバス

| 開講年度(Year) | 2023年度 | 開講期(Semester) | 前期 |
|---|---|---|---|
| 授業科目名(Course name) | 専門演習Ⅰ | | |
| 担当者(Instructors) | 今瀬 政司 | 配当年次(Dividend year) | 3 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 必修 |

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習では、「社会的課題の解決と地域づくり」をテーマにして、社会の問題で苦しむ人を助けたり、課題解決を図ったり、地域の活性化に取り組む人たちの活動について主に学ぶ。3年生と４年生（各前期・後期）を通じた学習内容として、①「社会的課題の解決」や「地域の活性化」等について、知識や事例や実践ノウハウを学ぶ。また、②ゼミ生自らが希望する具体的な課題テーマや事例等を対象にして、調査研究や実践活動を行って、卒業論文を作成する（3年生前期に企画立案、後期に中間作成、4年生前期に初稿作成、後期に修正・完成）。さらに、③地域（行政・企業・NPO・他大学等）の現場を訪問して学外学習を行う。授業を通じて、④就職活動の知識・スキル（企業・団体・行政機関（公務員））や実践的なビジネススキル（表現する力、受け止める力、協働する力等）を身につける。将来の就職活動や企業・団体・行政機関に勤める上で実際に役立つ知識・ノウハウとスキル（生きる力、働く力）の基礎を身につけて「成長する」こと、自らに「自信を持てる」ようになることを目標とします。授業形態は、原則各回を対面とするが、必要に応じて事前に連絡した上でオンラインで行う場合がある。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

| 授業形態(Class form) | 演習 |
|---|---|
| 授業の方法(Class method) | 文献をもとにした学習を踏まえて、プレゼンテーションやディスカッション、グループワークの機会も取り入れる。事例研究として学外学習も行う。様々な時事問題や雑学、受講者の問題意識なども積極的に取り上げる。進路・就職活動や学内外活動等での個別相談も必要に応じて行う。担当教員は、シンクタンク企業や民間非営利組織10団体以上に所属して、様々な実践活動や国・自治体の政策形成に携わってきていることから、その具体的な実務経験を紹介することで、リアリティを持って実践イメージを持てるようにする。 |

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---|---|---|---|
| 第1回 | オリエンテーション | 演習の内容・進め方・課題・成績評価方法等。「社会的課題の解決と地域づくり」の概要と企画立案 | □ |
| 第2回 | 地域づくりの知識・ノウハウ(1)：ＮＰＯと公益活動 | 自治と協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(1)：公益の担い手としてのＮＰＯ | □ |
| 第3回 | 地域づくりの知識・ノウハウ(2)：ＮＰＯと経済活動 | 自治と協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(2)：経済主体・ビジネスの担い手としてのＮＰＯ | □ |
| 第4回 | 実践のスキル・ノウハウ(1)：地域活性化 | 地域づくりのためのＮＰＯ活動やボランティア活動などの実践的な活動スキル・ノウハウ、就職活動・学外活動等のノウハウなど | □ |
| 第5回 | 地域づくりの知識・ノウハウ(3)：協働のあり方 | 自治と協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(3)：地域の活動や政策のあらゆる場面で必要な協働性の原則 | □ |
| 第6回 | 地域づくりの知識・ノウハウ(4)：協働の現状と課題 | 自治と協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(4)：協働の活動や政策の現状と課題 | □ |
| 第7回 | 実践のスキル・ノウハウ(2)：協働 | 地域づくりに向けたＮＰＯ・企業・行政等の協働の実践的な活動スキル・ノウハウ、就職活動・学外活動等のノウハウなど | □ |
| 第8回 | 地域づくりの知識・ノウハウ(5)：地域活性化の事例 | 自治と協働による地域づくりの専門的な知識・ノウハウ(5)：全国各地の公共・公益活動、地域づくりの事例 | □ |
| 第9回 | 地域づくりの企画立案(1)：企画書とは | 自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(1)：企画書の作成ノウハウ | □ |
| 第10回 | 地域づくりの企画立案(2)：企画書の作成 | 自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(2)：企画書の具体的作成 | □ |
| 第11回 | 地域づくりの企画立案(3)：企画書の発表と評価 | 自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(3)）：企画書のプレゼンテーションとディスカッションと評価 | □ |
| 第12回 | 地域づくりの企画立案(4)：企画書の更新 | 自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(4)）：企画書の修正・更新 | □ |
| 第13回 | 地域づくりの企画立案(5)：企画書の更新発表と評価 | 自治と協働による地域づくりの取組みの企画立案(5)：企画書更新版のプレゼンテーションとディスカッションと評価 | □ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第14回 | 文書作成のスキル・ノウハウ(1)：レポート・論文作成 | レポート・論文作成のスキル・ノウハウ、表現力、情報の収集・分析・発信力、就職活動・学外活動等のノウハウなど | □ |
| 第15回 | 文書作成のスキル・ノウハウ(2)：ビジネス文書作成 | ビジネス文書、実社会での書類作成のスキル・ノウハウ、ビジネスマナー、就職活動・学外活動等のノウハウなど | □ |

**■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)**

自らの興味や考えを大事にしながら、授業時間外でも積極的に学びを深め、調査研究や実践活動を行い、課題に取り組むこと。自身で分からない疑問等は、積極的に教員に質問・相談等を行うこと。（事前・事後で４時間程度）

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

演習テーマに関連する様々な時事問題や雑学、あるいは受講者の問題意識に関連した事柄についても積極的に取り上げる。演習での課題のほか、進路・就職活動や学内・学外活動等の相談にも乗り個別面談アドバイスを行う。学習・取組みの成果は、今瀬政司研究室ホームページで情報発信する。

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|---|---|---|
| 思考力・判断力・表現力 | ◆ 2019地域ビジネスDP2 | 「社会的課題の解決と地域づくり」の知識・実践ノウハウを理解・説明できる。 |
| 主体性 | ◇ 2019地域ビジネスDP3 | 「社会的課題の解決と地域づくり」の取組みの企画を立案することができる。 |

**■成績評価(Evaluation method)**

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験（in-class exam) | その他(Other) |
|---|---|---|---|---|
| | | | 30% | 70% |

**授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)**

その他：授業期間中の卒業論文とレポート。積極的に学びを深め、調査研究や実践活動を行い、課題に取り組んで「成長しているか」、実社会で役立つ知識・ノウハウやスキルを身につけて「成長しているか」等について、授業状況や提出課題で公平に点数化して総合的に評価する。

**■テキスト(Textbooks)**

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|---|---|---|
| 1 | 授業中に説明します。 | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

**■参考図書(references books)**

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|---|---|---|
| 1 | 今瀬政司（2011）『地域主権時代の新しい公共　希望を拓くＮＰＯと自治・協働改革』学芸出版社 | 978-4-7615-2525-5 |
| 2 | 演習テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を随時紹介する。 | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |